

チャレンジフェスティバル

(10月7日)

10月7日の日曜日にチャレンジフェスティバルに行きました。この日は暑くて、日かげの少ない運動公園では大変でした。だけど、いろんなものがあって楽しかったです。

最初にやった竹馬はむずかしかったです。何歩か進めるとすぐくうれしくて、何度もやりました。ガールスカウトがやって

いた弓矢もおもしろかったです。なかなかうまくリングに当たらず

なくてむずかしかったです。他にもバランスや息止めなどをやりました。どれもむずかしかったです。夢中になって楽しかったです。こういう行事があるっていいなと思いました。来年も参加したいです。

(高島あずさ)



▲チャレンジフェスティバルの竹馬

私はまず、「フワフワ」に入りました。中ではねるといつもより高くとべました。そのほかにもいろいろやりました。「バランス」はすぐに落ちてしまいました。記録は2秒！「息とめ」は14秒止められてしまいました。「竹馬」は先生に教えてもらいながらやりました。ほかに「バスケットゴール」50m走「フライングディスク」などをやりました。まん中のステージではダンスなどもやりました。

たくさんの方が来ていてにぎやかでした。来年は記録をのばしたいです。

(相原美奈)

姉妹都市交流会

(10月27～28日)

中津川市(岐阜県)との交流会は島崎藤村にちなんだ交流会です。島崎藤村のおかげで中津川市の子と出会えることは、とってもいいことです。

副町長さんが言っていました。

「出会って人は仲良くなる。」今はすごくネット上のメールが多いです。顔を見ずに仲良くなる、それが今の友達づくりになっています。人が本当に仲良くなる

ためには、会わなくてはならないと思いました。

一日目は天気が悪かったけど、二日目は晴天で、ごへー祭りができました。ごへーもちは地いきごとに味がちがうそうです。大磯も地いきで団結して、こんなことができたらいいなと思いました。

交流を通して、中津川にあって大磯にはないもの、大磯にあって中津川にないものが発見できました。やっぱり人が出会ったから、たくさんの方が分かってきます。人が出会うことは、大事なことだということが分かりました。

(内海七夕美)

一日目、中津川市の人と久しぶりに会えたときはうれしかったです。

中津川には水力発電所があつてびっくりしました。きそ川のおかげで、中津川の人はずかっているんだなと思いました。

リングがりは、雨の中やって手が冷たかったけど、いい色のリングがとれました。ホテルからは大磯小の人と(私は国府小です。)いっしょで、大磯小の人とも仲良くなれました。

二日目、島崎藤村記念館では、藤村のいろんなことがわかりました。どんな本を書いたか、藤村はどのように生きたかという

ことも知りました。



▲ごへー祭りでお手伝い

ごへー祭りはすごく楽しかったです。広い会場でいろんなものが売ってありました。ごへーもちは地区で味がそれぞれが違います。私は一種類しか食べなかったけど、おみやげに3種類買いました。大磯のひものも売っていて、そのお手伝いもさせてもらいました。中津川は自然がたくさんあつてきれいなところでした。また機会があつたら行きたいです。

(高島あずさ)

町中の自然ウォッチング

郷土資料館で行われている企画展では、大磯の身近にある自然を紹介し展示しています。僕は前から植物や野鳥に興味を持っていたので、さっそくこの企画展に行きました。

展示室には蝶や鳥の写真や木の葉がたくさん展示してあります。



▲「町中の自然ウォッチング」の展示

僕が特に気になったのは王城山の自然についてです。僕にとって王城山はとても近くにあり、時々自然を探しに行く場所です。今回の展示には、王城山だけではなく思えないほどのたくさんさんの野鳥や昆虫の写真があり、大磯にこんな鳥もいるんだと驚く場面もたくさんありました。改めて大磯は豊富な自然がまだたくさんあるんだと強く感じました。

この町中の自然ウォッチング展は、来年の1月14日まで行われているので、ぜひ大磯の自然をもう一度見つめてみてください。きっとかわいい昆虫、野鳥の姿を見て感動すると思います。

(斉藤啓太)

このコーナーを手伝ってくれる子ども記者を募集しています。

◎問い合わせ

企画室 ☎内線206